

成壮年男子団体優勝 愛知県A

悲願の初優勝！

この種目は平成26年度（第53回東京大会）、平成27年度（第54回奈良大会）と第3位に入賞し、昨年度（第56回福島大会）では熊本県との大接戦の末、1 point に泣き準優勝。成壮年団体はこの数年殆んどメンバーを変えずにエントリー、挑戦し続けてきましたので、待望の優勝となりました。ただ本県主管の今大会では各団体に2チームずつエントリーしたことからA、Bにメンバーを分散して臨みました。優勝写真のAチームは、近藤祥夫（半田市立半田中学校）、大塚政典（県立時習館高等学校）、清水誠司（名古屋市立北高等学校）、佐藤雅史（名古屋高等学校）、源口哲史（名古屋市立戸田小学校）、多久島一慶（名古屋市教育委員会）、立松幹浩（東海高等学校）、三浦時央（至学館高等学校）、原 賢一（名古屋造形大学）、そして今回大会運営に専念でマネージャー登録となった向坂健二（県立豊丘高等学校）先生です。

愛知県開催にあたり実行委員会をはじめ、線審・補助員等高校生の養成や手配等、大会の開催準備に多くの時間を割き、練習ができなかった先生ばかりの成壮年メンバーでしたが、今回久々にチームに加わった源口、三浦両名の先生方の戦力は大きく、1ゲームも落とすことなく全試合快勝で最高の結果を残すことができました。この勢いで来年度の長崎大会に向けて練習を重ね、連覇を目指す意気込みです。

一般女子団体優勝 愛知県A

予想外の嬉しい初優勝！

若い先生方の加入も無く十数年エントリーしていなかった一般女子団体でしたが、地元開催で無理やり？掻き集めたメンバーです。他の団体種目と同様A、Bを急造したことから優勝写真のAチームは、藤井珠生（岡崎城西高等学校）、岡本早慧子（名古屋市立鳴子小学校）、樋口亜依美（春日井市教育委員会）、近藤爽加（北名古屋市立師勝小学校）の選手4名で臨むことになりました。大会前にチームとして一度も練習しておらず、大会当日のオーダーを提出する寸前に初顔合わせというのが正直なところですので、まさか優勝するとは、驚きました。全試合ダブルスを落としシングルス2試合で初戦・準決勝・決勝と全て逆転勝ち。優勝の原動力は愛知県出身で中学・高校・大学そして実業団で活躍してきた元三菱電機の藤井先生、元百十四銀行の樋口選手らの個々の力が大きかったと感じています。

総合優勝 愛知県

地元開催を盛り上げたく、年1回の県大会を今年は2回開催し、全種目エントリーを目標に愛知県開催を周知徹底した結果、団体全4種目に各2チーム、個人戦22種目中18種目のエントリーにこぎつけ、例年の約3倍の総勢63名の選手編成となった。競技初日の団体戦では一般女子団体、成壮年男子団体の2種目に優勝、成壮年女子団体も第3位と幸先良くスタートがきれ、競技2日目個人戦複に入っても勢いは続き、一般女子複、50歳以上男子複で準優勝、30歳以上女子複、50歳以上女子複、70歳以上男子複で第3位入賞をはじめ他種目でも複数の複組がベスト8まで勝ち上がっている。そして競技3日目と最終日の単では連戦と競技運営で疲労困憊か、決勝にコマを進めたのは30歳以上男子単のみで、一般女子単、30歳以上女子単、40歳以上女子単、50歳以上女子単、40歳以上男子単、50歳以上男子単は準決勝で敗退し第3位入賞に留まった。結果個人戦での優勝者を出すことはできなかったが、最終日の単11種目中7種目に愛知県選手が勝ち残って熱戦を繰り広げ、更には総合成績での優勝は地元愛知県開催に花を添えることが出来てこの上もない喜びでした。

第57回愛知県の開催については遡ること第53回東京大会（平成26年8月）時に高橋英夫日本教職員連盟理事長より打診があり、同大会期間中に山田順一郎愛知県協会理事長とも相談できたことで、平成30年度の本大会を愛知県で受けることを決めた。選手の移動負担軽減、全館空調完備等プレーヤーズファーストに方針を定め、最善の会場として「一宮市総合体育館」（3アリーナを要し36面を確保できることから）に候補を絞り込み3年越しで会場確保に努めた。

競技運営の準備は、高校生の準3級公認審判員の取得と人員養成を1年以上前から順次進めてきたが、今春3月に現政府によって出された働き方改革の方針の影響を真っ向から受け、お盆休みにあたる本大会期間中の高校生と顧問教員の派遣は5月GW明けになって多くの県立高校からストップが掛かり派遣は困難な状況となった。急遽県内全域の私立高校に派遣依頼を切替え再要請、しかし生徒の複数日派遣は難しく、一部の競技役員を除き多くは単体日での協力となった。8月11日の諸会議と競技会場準備に141名、競技初日268名、競技2日目351名、競技3日目346名、最終日148名の延べ1254余名の人員協力を得て無事に大会を終えることができました。写真は最終日に担当した競技役員・補助員と一部の選手しか写っていませんのでご了承ください。

今大会は経費上赤字大会となりましたが、プレーヤーズファースト方針で開催した本大会の開催にあたりご理解のもとご尽力いただきました協会・連盟ならびに選手・役員皆さま、厚くお礼申し上げます。